



障害者スポーツ体験では、「ボッチャ」を体験しました。老若男女、誰とでも一緒に楽しめる競技でした。



東京パラリンピック女子マラソン選手の西島さんに、お話を伺いました。「最後まで諦めない」ことの大切さや、「自分を応援してくれる人への感謝の気持ちをもつ。」ことの大切さを教えていただきました。



アイマスク体験では、「見えない」とうことが、こんなに怖いとは思いませんでした。友達に支えてもらってやっと歩けました。町で目が不自由な人に会ったら、「何か困っていることはありませんか。」と声をかけたいと思います。



高齢者体験では、「物が見づらい」「身体が重く感じる」「手足を思うように動かせない」など、お年寄りの気持ちを少しでも感じることができました。これからは、おじいちゃんやおばあちゃんが困っていたらお手伝いしてあげたいと思いました。



車椅子体験では、乗っている人の怖さが分かりました。押す人も、車椅子がほんの少しの段差でも動けなくなることが分かりました。



県点訳むつみ会の講師の先生方をお招きして、点字を学習しました。点字の歴史や点字のしくみ、点字のきまりなどを学習しました。実際に点字を読んだり、打ったりしましたが、点字を覚えることの大変さを改めて感じた2時間でした。



燃やせるゴミの中に、扇風機のガードやナベ、消火器まで混じって捨てられていました。ゴミは絶対に分別しようと思いました。帰ってから家族にも伝えたいと思いました。



下水や汚水が、微生物の力を借りて、少しずつきれいな水になっていくことを教えていただきました。汚かった水が、最後には、山奥のきれいな川にいるイワナが泳ぐきれいな水に変わることには驚きました。



大きく伸びた草は、中学生のみなさんが、カマで刈ってくれました。ぼくたちも一生懸命草取りやゴミ拾いをしました。



中学生のみなさんと協力し合って、とってもきれいな公園になりました。中学生のみなさんが、テキパキと掃除する姿がかっこよかったです。これからも、ずっときれいに使いたいと思いました。